



# 『安全よりも安心』のまちづくりを

# 洪水災害との戦いが水戸の歴史



2019年の台風19号被害



Interview

水戸市長  
高橋 靖氏

「水戸市における災害リスクの考え方はどのようなものでしょうか」

「私が市長に就任したのが、東日本大震災直後の2011年5月でした。あの頃から『安全・安心な社会』という政策的キーワードが叫ばれるようになりましたが、私が感じることは『安全よりも安心』であること。『まち』というのにはそこに暮らし、働き学ぶ人主体のもので、安心して暮らせるということが、まちの最大の魅力だと思います」

「安心できるまちづくりを、どこから考えるべきか。そこに災害リスクへの対応も含まれます。水戸市の場合、関東大震災や第2次世界大戦時の空襲、東日本大震災の地震被害を別にすると、那珂川やその支流における洪水災害との戦いという歴史があります。これは歴史どころか、現在でも大きな災害リスクと言えます。台風の大規模化やゲリラ豪雨の頻発など、過去になかった要因が新たな災害を引き起こしているからです。現

在、那珂川右岸では下流域の大野地区で那珂川緊急治水対策プロジェクトが実施され、堤防整備が進んでいます。今後、堤防区間の築堤を早期に進めていく必要があります」

「2019年の台風19号では、藤井川(茨城県管理)の堤防決壊で大きな被害が出ました」

「市内の水害としては、1998年、気候変動の影響により、近年、気候変動の影響により、めまろ川からの越水流や決壊が原因となっています。支流のキヤパンテが限界を越えることは、明らかに短時間で降水量が増大していると考えられます。地形も起伏に富んだ水戸市は、都市洪水対策を強化しなくてはなりません。浸水被害の早期軽減を目指して、2015年度に雨水排水施設整備プログラムを作成しており、雨水貯留施設整備やゲリラ豪雨への対応、排水インフラ整備など、複合的な取り組みを行っています」

「この8月に策定した国土強靱化(きょうじ)化地域計画は、想定される自然災害全般(地震、津波、台風・竜巻・豪雨などの風水害等)に対する備えを構築してまいります。優先順位として考えますが、優先順位として考えますが、水害対策が大きな柱となります。那珂川、湖沼川といった直轄河川管理区間における無断区間や支流となる県管理河川の未整備区間の早期整備、那珂川をはじめとした既存堤防の強化を要請するなど、県管理河川の一体的な整備を促

「市民との意思疎通については何を重視していますか」

「どんな政策も市民の声を聞き、防災訓練を繰り返して啓発を行っています。特に防災訓練は、以前は千波湖畔に大がかりな人員と資機材を集結させ、ある意味年中行事のような方法で開催していましたが、それでは地域ごとの市民には伝わらない。今は町内会や自治会単位で地域ごとに、その地域の課題を抽出するようになり方を変えています。こうした活動を

「個人はSNSを活用して、個人のアカウントによる情報発信と市の行政を重ねることへの是非はあるのですが、その部分に細心の注意を払うことで、NSは市民の声、緊急事態の迅速な把握に役立つツールだと考えています。先ほど話題に出した台風19号の際の藤井川氾濫などは、どこよりも早く知らせてくれたのが市民からのSNS投稿でした。もちろん市政の窓口は各課の担当に委ねるものですが、市長と市民の距離感を近づけられることにSNSのメリットがあります。災害への備えは、様々なツールを駆使して、市民の皆さんと市がいかに協力し合えるかだと考えます」



防災講話



市民へのハザードマップ説明  
(写真はいずれも水戸市提供)

大型化する気象変動と対峙



国道が分断され店舗が水没した  
甚大な被害



つくっているのは、未来です。

小さな頃に思い描いていた未来がある。映画やアニメで観たような風景。みんなが笑顔で暮らす、人にも環境にもやさしい街。そんな希望にあふれる世界をカタチにしたい。そこで暮らす一人ひとりに想いをこめて。私たちは確かな技術と豊かな創造力で、新しい未来をつくっていきます。

人と技術で、未来に挑む。 安藤ハザマ HAZAMA ANDO CORPORATION

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 気候/17年持続可能な開発目標(SDGs)を推進しています。

未来から信頼される建設会社へ。

trust of the future

前田建設 MAEDA

<https://www.maeda.co.jp>

その仕事が、誰かの未来になる。

— 総合建設業 / 創業1862年 —

佐藤工業株式会社

<https://www.satokogyo.co.jp>

160 years Thank You

私たちが築くのは、ごころです。

使う人の気持ちにこたえる “しあわせ品質”をお届けするために 技術力と人間力を掛け合わせた独自の“現場力”をもって全力で取り組みます。そして完成後も、運営、維持管理、修繕、再生まで一貫して携わり、新しい物語が生まれ続けるくらしの舞台を、時代をこえて支え続けていきます。

高める、つくる、そして、支える。

熊谷組 KUMAGAI